



環境影響評価の考え方とその事例

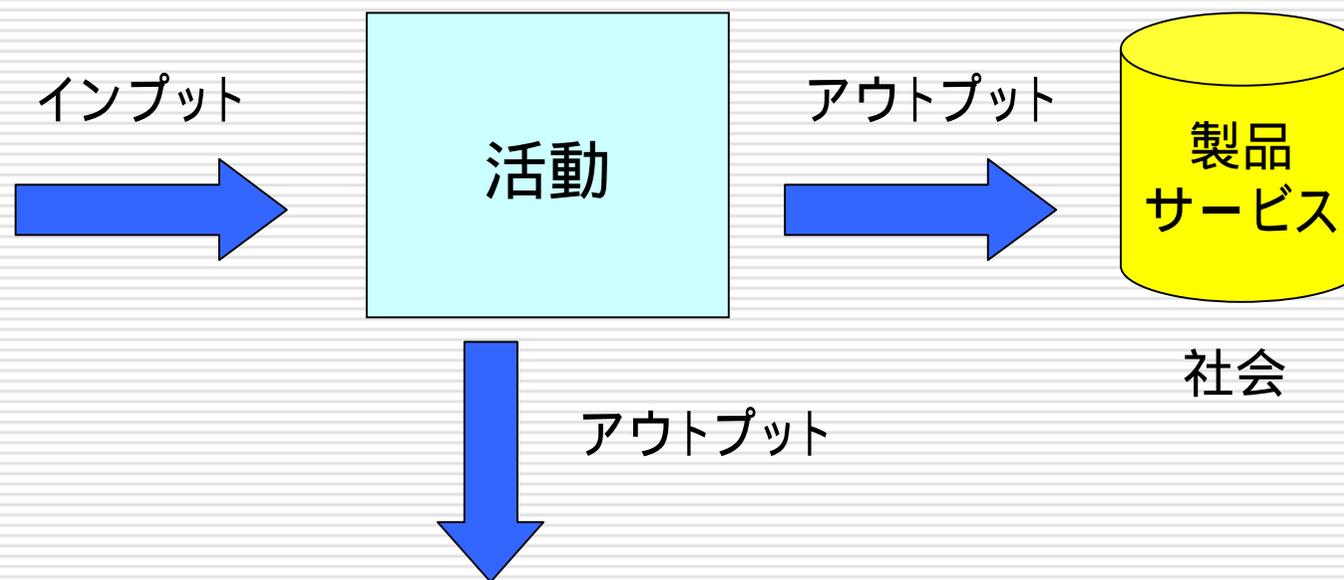
株式会社イーエムエスジャパン

代表 黒柳 要次

<http://www.emsjapan.co.jp>

活動、製品、サービス

- 活動の成果が製品、サービスとして社会に提供されます。
- 製品、サービスはその会社の本来業務であり、一般的にこれを改善することが最も環境改善効果があがります。



活動、製品、サービスの環境側面

- 活動は、自ら実施するため管理可能(直接)です。委託先は、間接になります。
- 製品、サービスは直接管理はできませんが、影響を及ぼすことが可能(間接)です。

区分	直接	間接
活動	○	○ (委託先の活動)
製品	—	○ (設計・開発部門)
サービス	—	○ (サービス提供部門)

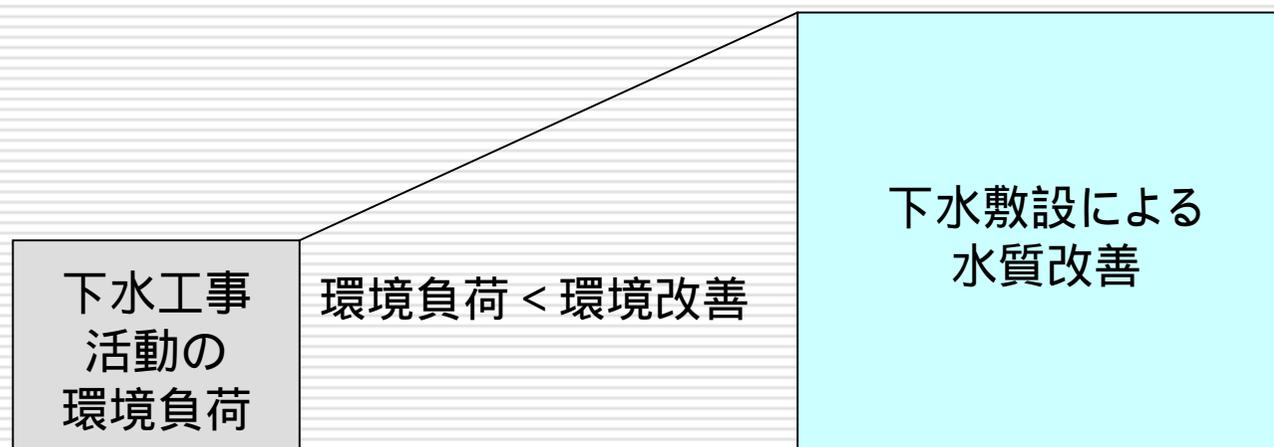
活動、製品、サービスの環境側面の例

□ リサイクル会社の抽出例

区分	直接	間接
【活動】 廃棄物の収集 リサイクル処 理	ガソリンの使用 手順ミスによる廃棄物の 道路の散乱（緊急） 処理時の電気の使用	処理委託先の環境管理確認 （有益） 運搬委託先の順法性確認 （有益）
【製品】 リサイクル品	車輛の事故の発生（緊急）	手順確立によるリサイクル 品の性状安定（有益）
【サービス】 廃棄物リサイ クルサー ビス	—	顧客へのリサイクル情報の 提供（有益） 焼却処分されていた廃棄物 のリサイクル化（有益）

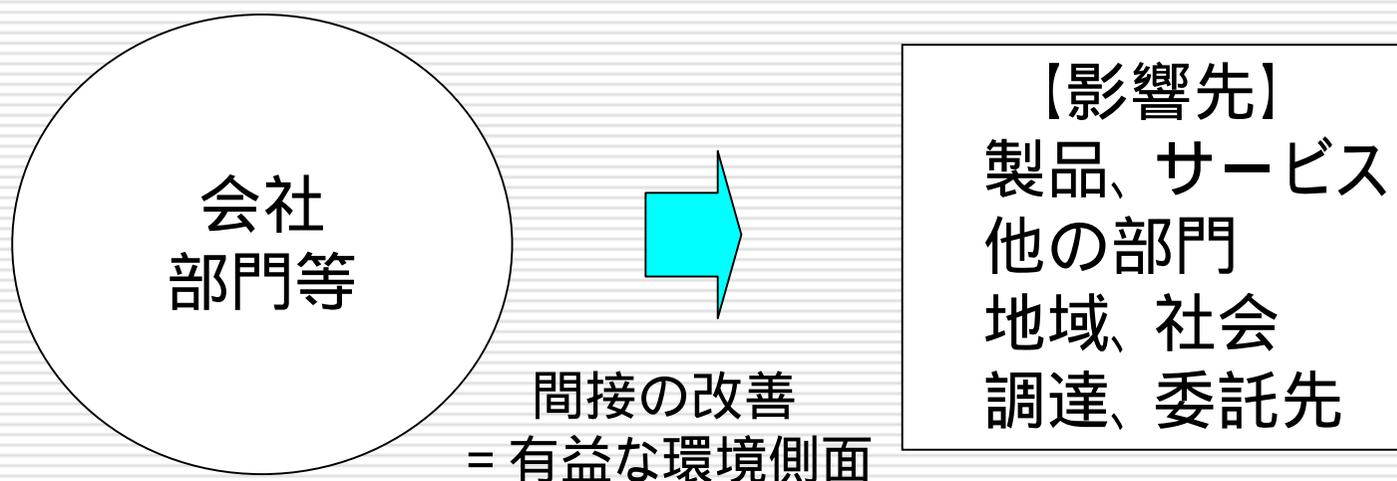
有益な環境側面とは1

- 有益な環境側面とは、活動による環境負荷より、環境改善の効果が高い環境側面です。



有益な環境側面とは2

- 直接的な環境負荷が大 直接の環境側面を改善
 - 直接の場合は、環境負荷を減らすほうが考え易い
- 間接的な環境負荷大 間接の環境側面を改善
 - 間接の場合は、前向きな環境改善のほうが考え易い



有益な環境側面のパターン

- 有害な環境側面の裏返し
 - 例：廃棄物の発生(有害) 廃棄物のリサイクル(有益)

- 製品、サービスの環境改善
 - 例：リサイクルし易い製品、地域内の廃棄物削減、下水道普及率向上、学生への環境教育

- 他の部門活動の環境改善：間接部門に有効
 - 例：連続生産(生産管理部)、不良品削減(品質管理部)

有益な環境側面のパターン

□ 地域・社会改善活動

- 例: 地域の清掃、地域緑化への参加、環境ボランティアへの参加支援

□ 調達先・委託先の環境改善

- 例: 不良品改善指導、環境管理方法の確認、ISO14001取得活動支援

製品の環境側面

□ ライフサイクル分析の例

家庭用電器製品の環境側面例

インプット	ライフサイクル	アウトプット	管理の可能性	改善方法 (有益な環境側面)
部品原材料の使用	部品	-		製品の小型化・軽量化
エネルギーの使用 (活動で抽出)	輸送 生産	排ガスの発生 (活動で抽出)	○	製品の小型化・軽量化 (活動で実施)
エネルギーの使用	輸送	排ガスの発生		製品の小型化・軽量化
エネルギーの使用	使用	-		省エネ製品の開発 消費者への情報提供
-	廃棄	廃棄物の発生 有害物質の漏洩		分解性の高い製品開発 部品材料の表示 鉛フリー製品開発

○：管理可能 ◐：影響を及ぼすことが可能 ×：影響を及ぼすことができない

間接部門の環境側面

- 間接部門は直接的な環境負荷は少なく、本来業務の(間接的な)環境側面の抽出が有効です。

部門	自部門内活動の環境側面	本来業務の有益な環境側面
設計・開発	オフィスの環境側面 (紙、ごみ、電気等)	省エネ製品の開発 分解性の高い製品の開発
生産管理	オフィスの環境側面	生産工程の省エネルギー化 連続生産の実施、不良品削減
営業	オフィスの環境側面 + 自動車の環境側面 (燃料、排ガス等)	環境配慮製品の販売促進
総務	オフィスの環境側面	地域環境改善活動への参加 環境パフォーマンスの公開

調達先・委託先へ影響を及ぼす範囲

□ 実施範囲を明確にします (裁量の範囲)。

項目	内容	事例
資本関係	資本比率が高い	企業グループとしての地球温暖化対策、ISO14001のグループ全体での取得など
取引重要性	委託先にとり、組織の取引の重要度が高い	委託先の組織に対する取引額のシェアが高い場合など
業務仕様	委託内容が組織の仕様により決められる	業務代行、工事、専用品、単品製品、特注製品など
提供場所	サービスを受ける場所が、組織内である	サイト内の派遣などの委託業務、サイト内での物品の受け渡しなど
提供物	提供を受ける物品、サービス自体に問題がある	不法行為、不良品、有害物質混入など

有益な環境側面の評価例

□ 経営改善の優先順位をつける様に評価します。

評価項目	適用
経営理念・事業内容からの必要性	当社の経営理念、事業内容から実施する必要性が高いか
実施による環境改善の効果	実施により環境改善の効果があがるか
利害関係者の関心事	社内、社外の利害関係者からの関心が高いか
実施の可能性	実施することが可能かどうか
実施による事業拡大への寄与	実施により事業拡大に寄与することができるか
...	...

有益な環境側面評価の例

環境影響評価表(有益) 大分類：営業 小分類：営業 作成部門：営業

プロセス (業務)	環境側面	環境影響項目						評価					評価点合計	著しい環境側面
		大気汚染	水質汚濁	土壌汚染	騒音・振動・臭気	廃棄物	エネルギー・資源	経営理念・事業内容からの必要性	実施による環境改善の効果	利害関係者の関心事	実施の可能性	実施による事業拡大への寄与		
営業活動	環境配慮製品()の提案												5	
	環境配慮製品()の受注												5	

まとめ

- 本来業務とは普段の自分の仕事、部門の仕事、会社の仕事そのものです。
- 今やっている仕事を改善することが、環境改善の効果、継続性も高くなります。
- 本来業務の改善テーマは無限にあります。
- 間接の環境側面は、有益な環境側面を抽出、評価することが有効です。
- 有益な環境側面の評価に決まった方法はなく、経営の重要課題を抽出するのと同じです。